

令和5年度

ライフサポート りんどう

# 年 報

社会福祉法人 長野りんどう会

# ま え が き

長野りんどう会は、「障がい者が、その人らしく生きていくことに自信を持ち地域で生活していくこと」を実現するために相談、就労、訓練、居住など総合的に支援サービス提供可能な複合施設の利点を生かしながら、精神障がい者をはじめすべての障がい者がその人らしく生きていくことに自信を持ち地域で生活できるよう支援に努めてきました。

コロナ感染症につきましては、5月8日に感染法上の分類がインフルエンザ並みの5類に移行され、行動制限が緩和されました。しかし、全国的に夏から秋にかけ第9波の流行となり、「この間1万6千人余が死亡した」と報道されています。その後冬にも第9波よりピークは小さいが第10波が発生しました。りんどう会でも、3月に利用者8名、職員5名の計13名のまとまった感染がありました。これからもマスク着用、手洗いの励行、室内のこまめな換気など感染対策をしていかななくてはならないと感じています。

5年度の事業の執行等につきまして、利用者の動向は、コロナ感染症が5類に移行したことにより、新規利用者が減少していました自立訓練事業と就労支援継続B型（ワークス）が少し回復する傾向がみられました。

このほか、令和4年4月に開設した就労継続支援B型Ⅲ（ゆったりんどう）事業について、送迎サービスがあることなどから順調に利用者が増えたことから、7月に定員を10人から14人に変更し、ほぼ定員通りの利用者が確保できています。また、新こまざわハウスを4月に開設したことから共同生活援助（グループホーム）事業においても、利用者を増やすことができました。

給付費収入では、特別な加算がもらえる医療観察制度による入所者を受け入れたことにより、大幅な増収となりました。

その結果、当期活動増減差額は2,025万円余となり前年度に比べ1,640万円の増額となりました。以上のとおり、事業の利用実績が上向くなど順調な事業運営ができています。

令和6年は障害福祉サービス等報酬の改定の年でありました。

国の方針は引き続き「入所施設や病院からの地域移行を進め、どの地域においても安心して地域生活を送れるよう支援していく」とし、事業の指定基準においては「事業者は利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる利用者の意思決定の支援に配慮するよう努めなければならない」と明記されました。

障害者が希望する地域生活を実現するため、利用者の意思決定の支援に配慮し、希望する生活を実現するため相談支援の質の向上や提供体制の整備を図ることとしました。

また、共同生活援助（グループホーム）事業では、支援の質の確保を図るため、利用者及びその家族、地域の代表などによる「地域連携推進会議」を開催することが努力義務となり、令和7年度からは、義務化されます。

りんどう会としてもこれらの方針に沿い事業運営をしております。

以上のように、令和5年度の法人経営の状況などをまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

皆様方におかれましては、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年6月

社会福祉法人長野りんどう会

理事長 松 橋 良 三

# 目 次

まえがき

I 法人全体の状況	1
1 法人の理念	1
2 事業報告	1
監査報告書	9
資料1 令和5年度 各専門系の活動状況	10
資料2 令和5年度 地域交流・地域貢献事業への参加状況	12
資料3 令和5年度 苦情解決状況	12
資料4 令和5年度 施設利用料等一覧	13
資料5 令和5年度 職員外部研修参加状況一覧	14
資料6 令和5年度 視察見学者の状況	15
資料7 令和5年度 実習生受入状況	15
3 令和5年度 収入支出決算状況	16
II 各サービス事業の実績	
1 指定生活介護事業（フレッシュとくま）	21
2 指定短期入所事業（フレッシュとくま）	22
3 指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま）	23
4 指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま）	25
5 指定共同生活援助事業（グループホーム）	26
6 指定自立生活援助事業（自立生活支援室）	28
7 指定就労継続支援B（Ⅰ）型事業（ワークス上駒）	30
8 指定就労継続支援B（Ⅲ）型事業（ゆったりんどう）	31
9 指定就労定着支援事業（ワークス上駒 就労定着支援室）	33
10 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）	34
11 指定特定相談支援事業（相談室）	35
12 指定居宅介護・重度訪問介護事業（ヘルパーステーションてくてく）	36
III 法人支援組織の活動状況	
1 令和5年度 長野りんどう会後援会の状況	37
2 令和5年度 ライフサポートりんどうボランティア活動状況	39
3 令和5年度 ライフサポートりんどう家族会の状況	40
<参考資料>	
1 令和5年度 役員等名簿	41
2 令和5年度 職員名簿	42

# I 法人全体の状況

## 1 法人の理念

「私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉の推進に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。」

## 2 事業報告

令和5年度事業計画に基づいて実施した内容について、次のとおり報告します。

### 総括

#### 1 事業の取組及び成果

当期の事業につきましては、前年度まではコロナ感染症により、新規利用者が減少する事業がありましたが、感染がひと段落したことにより、自立訓練（宿泊）事業及び就労継続支援事業（ゆったりんどう）などで利用者が増加しました。

給付費収入においては、利用者の増と特別加算の対象となる医療観察制度による利用者を引き受けたことで、大幅な増収となりました。一方、費用の面では、人件費では役員報酬、職員給料等が増額となりました。事業費ではこまざわハウス開設による初度調弁の減、水道光熱費の減などにより減額となりました。

当期の業績につきましては、自立支援給付費収益は1億8,791万円となり前期に比べ1,686万円（9.9%）増加しました。当期活動増減差額は2,025万円となり前期に比べ1,460万円（358.6%）増加となりました。

主な事業の状況

#### 2 主な事業の取り組み内容

##### (1) 生活介護事業（定員17人）

健康維持の支援、送迎サービスの実施により利用者確保に努めた結果、減少していた利用者が増加しました。今後の課題として、利用者の高齢化などにより、フレッシュ4階での事業場所の検討が必要になっています。

##### (2) 自立訓練（宿泊）事業（定員17人）

本年度は、医療観察制度等による利用者2名を受け入れたことから、多額の加算額があり収入の増加に寄与しました。利用者は、減少傾向でしたがコロナ前の水準に戻ってきています。

##### (3) 就労継続支援B型事業（ゆったりんどう）（定員14人）

前年度開始したゆったりんどうは利用希望者が増えたことから、7月から定員を増やしましたが順調に利用者が増えています。今後の課題として、仕事量の確保と作業場の確保が必要になっています。

(4) 就労継続支援 B 型事業（ワークス上駒）（定員 34 人）

ゆったりんどうを希望する利用者について、事業所間の異動を行った結果、利用者数は若干減少しました。就業先について、新規企業との契約に努め工賃アップを図ることができました。

(5) 共同生活援助事業（グループホーム）（定員 26 人）

新こまざわハウスの開設により利用者が増加しました。また、医療観察制度等による利用者を 1 人受け入れたことにより収入の増加となりました。

## 法人運営

### 1 会議等の開催状況

(1) 評議員会（2 回開催）

R5. 定時 R5.6.26 令和 4 年度決算及び事業報告、定款の一部変更、第 13 期役員の選任、評議員の選任、評議員選任・解任委員の選任、第三者委員の選任

R6.3 月 R6.3.25 令和 5 年度予算の補正、定款の一部改訂、基本財産の処分、役員等報酬規程の改訂、令和 6 年度事業計画及び資金収支予算、第 4 次 3 カ年計画、業務継続計画（BCP）、職員の異動、評議員選任・解任委員

(2) 理事会（4 回開催）

第 98 回 R5.6.7 令和 4 年度事業報告及び決算、定款の一部変更、管理運営規程の改訂、第 13 期役員の選任、評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の招集、評議員選任・解任委員の選任、第三者委員の選任、令和 5 年度定時評議員会の招集

第 99 回 R5.6.26 理事長の選定、副理事長及び常務理事の選定

第 100 回 R5.10.25 管理運営規程の改訂、給与規程の改訂、理事長及び常務理事の職務執行状況報告

第 101 回 R6.3.13 令和 5 年度予算の補正、定款の一部改訂、基本財産の処分、役員等報酬規程の改訂、給与規程の改訂、第 4 次 3 カ年計画、令和 6 年度事業計画及び資金収支予算、重要な職員の選任及び解任、評議員選任・解任委員、令和 6 年 3 月評議員会の招集、理事長及び常務理事の職務執行状況報告、業務継続計画（BCP）

(3) 監査

監事は、理事会並びに評議員会に出席し、理事の職務の執行状況を監査した。また、決算等の監査結果を報告した。

R5.5.23 令和 4 年度事業及び会計処理全般の監査実施

(4) 施設運営会議

・開催回数 46 回（毎週水曜日午後定例開催）

・構成員 正副理事長、常務理事、施設長（管理者）、事務長

## 2 法人運営事務

### (1) 規程等の制定、改訂

- ・定款の一部改訂 第 98 回理事会 令和 5 年 6 月評議員会  
第 101 回理事会 令和 6 年 3 月評議員会
- ・管理運営規程の改訂 第 98 回理事会 第 100 回理事会
- ・給与規程の改訂 第 100 回理事会 第 101 回理事会
- ・役員等報酬規程の改訂 第 101 回理事会

### (2) 役員等の研修状況（主なもの）

- ・苦情対応システム研修会 県福祉サービス運営適正化委員会（10/26） 2 人
- ・全国経営協 監事専門講座 オンライン 1 人

### (3) 登記関係

- ・資産総額変更（R5.7.6 登記申請）
- ・役員（理事長）変更（R5.7.6 登記申請）

### (4) 協定・賃貸借契約等関係（主なもの）

- ・長野市有財産賃貸借契約 ワークス西駐車場分（契約期間 3 年）更新  
契約日 H28.4.1（面積変更 R2.12.1） 当年度分 674,510 円
- ・駐車場賃貸借契約 第 2 駐車場分（自動更新）4 台＋プレハブ敷地（2 台）  
契約日 H26.4.1 契約変更 H28.6.1（一部返還）  
追加契約 2 台 R4.6.1～  
追加契約 1 台 R6.2.1～ 追加後 月 27,000 円
- ・「いなだの家」建物賃貸借契約（20 年契約）  
契約日 H16.4.14 月 130,000 円  
契約日 R6.3.31（自動更新） 月 130,000 円
- ・「のくとまーる」当初の建物賃貸借契約（自動更新）  
契約日 H24. 3.26 月 150,000 円
- ・「のくとまーる」の定員増分及び 207 号（物置）の建物賃貸借契約（自動更新）  
契約日 H24. 9.25 月 140,000 円
- ・「いなだの家サテライト」レジデンス KURASAWA306 号（石渡）（契約期間 2 年）  
契約日 R2.9.1 R5.9.24 契約終了 月 30,000 円
- ・職員勤怠管理システム関連（フレッシュ本部・ワークス上駒・スローステップ）  
クロノクラウド等サービス 契約先 (株)ミロク情報サービス  
契約日 R2.9.9 (R5.3～SS 追加) 月 17,545 円  
タイムレコーダー 月 12,100 円
- ・自動販売機設置協定（本部・ワークス上駒に各 1 台設置）  
協定日 R3.3.5 協定先 ダイードリンコ(株)

販売手数料=1月の総売り上げの18%

・カラオケ機材賃借料（フレッシュとくま）	・・・第一興商	月	21,770円
・スマートエコシステムリース料（本部建物・ワークス上駒）	・・・オリックス	月	13,413円
・福祉大臣ソフト保守料（R5.3.1～R6.2.29）	・・・リコージャパン	年	132,000円
・ワイズマン給付費ソフトリース料	・・・リコージャパン	月	51,920円
・自動車リース契約	・・・カーソリューションズ(株)		
R 3.9.17～60か月	日産セレナ	フレッシュとくま等送迎用…新車リース	月 51,150円
・自動車リース契約	・・・八十二オートリース(株)		
R 4.1.28～60か月	タント	グループホーム	…新車リース 月 27,830円
R 4.1.28～60か月	タント	相談室（特定相談）	…新車リース 月 27,830円
R 4.2.1～36か月	ライフ	フレッシュ（宿泊）	…リースバック 月 10,120円
R 4.2.1～35か月	ヴィッツ	フレッシュ（宿泊）	…リースバック 月 13,970円
R 4.2.1～72か月	ハイゼットカーゴ	ワークス（継続B）	…新車リース 月 24,420円
R 4.2.1～41か月	サクシード	ワークス（継続B）	…リースバック 月 19,140円
R 4.2.1～51か月	アルト	ワークス（継続B）	…リースバック 月 11,220円
R 4.2.1～49か月	アルト	てくてく（居宅）	…リースバック 月 11,440円

(5) 業務委託等の契約

・廃棄物処理委託定期（宝資源開発(株)）	H24.6.11（契約）		
	H31.2.1（覚書）		
	R 4.4.1（改訂）	基本	月 15,147円
・清掃業務委託（フレッシュ個室エアコンクリーニング）（(株)サニクリーン甲信越）			
	3台	8月実施	44,000円
・清掃業務委託（本部建物）（直富商事(株)）		10月実施	350,900円
・小型エレベーターメンテナンス ワークス上駒（パナソニックホームエレベーター(株)）			
	H23.4.1（自動更新）	年	111,100円
・荷物昇降機保守点検（(株)クマリフトコーポレーション）			
	H13.2.1（自動更新）	年	61,600円
・自動ドア保守管理業務委託（本部・ワークス上駒）（(株)長野ナブコ）			
	H30.6.1（自動更新）	年	158,400円
・受水槽清掃保守点検（(株)三京）	H25.9.1（自動更新）	年	33,000円
・警備委託 夜間防災支援体制（新日本警備保障(株)）			
フレッシュとくま（本館）	H26.2.10（契約期間5年間）	月	9,900円
こまざわハウス,いなだの家	H26.2.15（契約期間5年間）	月	15,070円
のくとまーる	H26.2.10（契約期間5年間）	月	10,780円

・消防用設備保守点検		
スローステップ分 (ホーチキ(株))	H23.4.1 (自動更新)	年 48,400 円
本館分 (ホーチキ(株))	H28.4.1 (自動更新)	年 256,674 円
ワークス上駒分 (株)ナショナル防災)	H23.4.1 (自動更新)	年 49,500 円
こまざわハウス (新日本警備保障(株))	H26.3.1 (自動更新)	年 22,836 円
いなだの家 (新日本警備保障(株))	H26.3.1 (自動更新)	年 37,708 円
のくとまーる (城東電機)		年 44,000 円
・ホームページホスティングサービス (株)いとう) R4.2.1 ~		月 3,300 円
・ホームページドメイン管理料 (株)いとう)		年 7,700 円
・コピー機保守 本部 (株)葛友)	H29.9.14 (5年間)	
		白黒1枚2.1円、カラー14円
・コピー機保守 ワークス上駒 (株)葛友)	H25.11.15 (5年間)	
		1セット45,100円/5千枚
・コピー機保守 スローステップ (株)葛友)	R4.4.22 (5年間)	白黒1枚2.8円
・税理士会計指導料 (長野東会計・小林税理士)		月 41,800 円
・健康診断委託 (財)全日本労働福祉協会)	H13.1.17 (自動更新)	
		(R5年度実績) 33人 276,440円

### 3 施設及び設備整備について (新規)

#### (1) 固定資産購入等

##### (取得)

##### (構築物)

・スローステップ 土留、フェンス	取得年月日 R6.3.28	取得価格 6,560,700 円
------------------	---------------	------------------

##### (器具備品)

・パソコン (フレッシュ事務)	1台 R5.5.31	156,750 円
・パソコン (本部理事長)	1台 R5.6.9	136,800 円
・パソコン (本部事務長)	1台 R5.6.16	145,600 円
・公衆電話 (GHこまざわハウス)	1台 R5.6.16	146,080 円
・パソコン (居宅介護事務)	1台 R5.8.2	151,580 円

### 4 資金の状況について (R6.3.31)

・寄附金収入	1,074,865 円
・当年度資金収支差額	23,870,388 円
・当年度施設整備等資金積立額	3,000,000 円
・年度末施設整備等積立金総額	0 円

・年度末純資産総額	612,363,998 円
・年度末借入金残額	10,206,000 円

## 5 人事管理について

(1) 職員の資質の向上と公正な人事管理を目的とした人事管理システムにより次のとおり実施した。

### ア 人事考課（業務管理）の実施

- ・前期（4月～9月）業務の自己評価と施設長による評価を行った。

(2) 雇用状況について（R5.4～R6.3）

- ・採用 正職員 1 人、嘱託職員 2 人、非常勤職員 5 人
- ・退職 正職員 3 人、嘱託職員 1 人、非常勤職員 4 人
- ・職転 嘱託職員⇒正職員 1 人、非常勤職員⇒嘱託職員 1 人
- ・R6.3.31 在籍職員数（3月末退職者含む） 43 人  
正職員 23 人、嘱託職員 4 人、非常勤職員 16 人（内当直職員 5 人）

## 6 職員研修について

職員研修実施要綱（基本計画）に基づき、「令和 5 年度研修計画」を策定して計画的な職員研修を行った。

(1) 内部研修

- ・各事業所内での O J T による研修の実施（新規職員等）（年間）
- ・朝の職員連絡会議で内容報告（毎日）
- ・各事業所単位ミーティングで伝達研修（週 1 回）
- ・月例職員会議での職員周知のための周知伝達等（月 1 回）  
（公用車管理・保険、BCP（業務継続計画）、コロナ検査キット使用方法、人権啓発、安全運転管理者講習、ヒヤリハット事例、市の集団指導、医療観察制度、虐待（身体拘束等適正化のための指針）防止等を周知伝達した。）

(2) 外部での一般研修受講

- ・受講した研修等の項目と延べ日数 31 項目・73 日
- ・研修等受講者延べ数 50 人
- ・一人当たり平均研修日数 1.46 日
- ・31 項目研修開催地（長野市内 17、長野市以外県内 3、県外 0、オンライン 11）

## 7 施設及び事業経営について

(1) 施設等の経営状況

① 指定生活介護事業（フレッシュとくま）	定員 17 人	日平均利用者数	17.3 人
② 指定短期入所事業（フレッシュとくま）	定員 3 人	日平均利用者数	0.7 人
③ 指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま）	定員 17 人	日平均利用者数	8.9 人
④ 指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま）	定員 6 人	日平均利用者数	5.8 人

⑤ 指定共同生活援助事業（グループホーム）	定員 27 人（R5.9～ 定員 26 人）	日平均利用者数	20.3 人
⑥ 指定自立生活援助事業（自立生活支援室）	定員 なし	月平均登録実人数	3.2 人
⑦ 指定就労継続支援 B（Ⅰ）型事業（ワークス上駒）	定員 34 人	日平均利用者数	28.3 人
⑧ 指定就労継続支援 B（Ⅲ）型事業（ゆったりんどう）	定員 10 人（R5.7～定員 14 人）	日平均利用者数	13.7 人
⑨ 指定就労定着支援事業（就労定着支援室）	定員 なし	月平均登録実人数	1.4 人
⑩ 指定一般相談支援事業（相談室）	地域移行支援利用延べ月数	2 月	
		地域定着支援利用延べ月数	74 月
⑪ 指定特定相談支援事業（相談室）	サービス等利用支援	234 件	
	継続サービス等利用支援	453 件	
⑫ 指定居宅介護・重度訪問介護事業（ヘルパーステーションてくてく）	定員 なし	月平均登録実人数	24.3 人

(2) 事故等の状況

- ・利用者の保険請求分 実績 なし

(3) 苦情解決状況（第三者委員・ヒヤリハット事例報告）

苦情受付日	苦情内容	解決経過
10/30～12/7 電話 4 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、スタッフが感情的、一方的にならず、受け止めてほしい。 施設内でトラブルを起こすから退所させようとしている。面接で突如、即刻退所を告げられた。利用者を大事に扱ってほしい。できないのであれば、担当を替えてほしい。	退所については、本人の意向もその都度確認しながら、進めているが、左記のような受け止めになる支援をしてしまったことについては反省し、改善をする。 担当替えについては、改善に努めたことから変更なしで終結した。
12/5～12/26 メール 1 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、風呂場で排泄をしてしまう利用者がある。気持ちよく入浴できるようにしてほしい。また、困っている方に我慢を強いたり、生活の場を変えろというのは不当ではないかという訴え。	排泄物については、入浴のたび職員が確認したが汚物はないため、安心して入浴してほしい。また、利用者の意思に反して退所を強制することはない。職員の対応が不適切であった。反省し今後の支援に当たることを伝えた。自分が悪いのではないことが分かったことで終結した。

(4) 防災・安全対策

- ・地震台風等災害のための消火・避難訓練

フレッシュとくま 12 回、ワークス上駒 2 回、スローステップ 2 回、  
グループホーム（いなだの家・こまざわハウス・のくとまーる 各 2 回）

- ・消火設備等の点検 2 回実施（専門業者に委託）
- ・感染症対策

新型コロナ等、感染症対策として、換気、利用者及び職員等の検温記録、3 密回避、マスク、

手洗い、消毒等の徹底、施設内の感染防止として非接触型手指消毒機等活用した。

また、県から配付の新型コロナ抗原検査キットを活用し、利用者の入所時確認、職員の自覚症状時等に使用し、コロナ感染予防を行った。

## 8 第3次3ヵ年計画の進捗状況について

### (第3章 計画の内容)

#### (1) 新たなグループホームの開所について

新たな「こまざわハウス」の開所により、快適な住居での支援を令和5年4月から開始した。

#### (2) 利用者家族の高齢化社会的孤立防止について

利用者家族の高齢化、社会的孤立防止のための保証人問題、身上監護については世間の支援状況の変化もあり、成年後見制度の動向も見据えながら法人としてどんな取り組みが相応しいのか、各関係機関からの情報収集に努め、今できる支援を継続している。

#### (3) 生産活動の実施に当たり地域や地域住民との協働の取り組みについて

- ・地元中学校の職場体験の受入れや、地域の行事の会場として施設を貸出し、利用者も参加した。
- ・ホームページやInstagramにより地域との協働の状況を発信した。
- ・生産活動で連携している企業、商店をホームページで紹介し、連携強化を図った。

#### (4) その他

- ・事業継続計画（BCP）の感染症マニュアルの作成に引き続き、自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を作成した。

## 9 その他

- ・会報誌（No66～No67）の発行
- ・年報（令和4年度版）の発行
- ・地域、行政、関係団体、地元組織等との連携協力を努めた。（コロナの影響により減少）
- ・長野市障害者自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）への参加協力をした。
- ・視察や見学、学生実習、職員研修生等を受け入れた。（コロナの影響により減少）

長野県高齢者生活協同組合4名、高崎福祉医療カレッジ 実習生1名

その他、長野看護専門学校、須坂看護専門学校、清泉女学院大学看護学部より複数名の実習生を受け入れた。

# 監査報告書（写し）

令和6年5月21日

社会福祉法人 長野りんどう会  
理事長 松橋 良三 様

社会福祉法人 長野りんどう会

監事 塩澤 一郎 ㊟

監事 丹後 恵二 ㊟

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### （2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### （3）意見

ア 長野市の指導監査については、特に改善する点はありませんでしたが、助言された事項については適正に対処してください。

イ 第3次3カ年計画は、ほぼ計画通りに達成されましたが、自然災害発生時の事業継続計画（BCP）については、職員への周知を徹底してください。

併せて、第4次3カ年計画についても、逐次進めてください。

# 資料 1

## 令和 5 年度 各専門係活動状況

\* 進行管理者

係	令和 4 年度の活動	構成員
1 年報・会報誌発行係	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 5 年度年報の発行</li> <li>・ 会報誌 No.66・No.67 の発行</li> </ul>	<p>* 高野 小林（克） 富澤 藤澤 山崎</p>
	<p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年報及び会報誌の発行関係業務（編集・校正、印刷手配、発送）</li> <li>・ 会報誌の発送部数の検討</li> <li>・ 年報及び会報誌の配布先名簿の整理</li> </ul>	
	<p>まとめと成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年報及び会報誌の発行を遅滞なく行うことができた。</li> <li>・ 会報誌について、写真を多く取り入れたり利用者や職員のコメントを入れたりすることで、事業の様子等をわかりやすく、またより親しみやすく伝えることができるよう努めた。</li> <li>・ 個人情報や権利に配慮した編集を行った。</li> <li>・ 業務が円滑に進むように業務手順等の改善を行った。</li> </ul>	
2 家族会係	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族会会員一人ひとりの思いや経験を活かして、楽しく参加できる活動を目指す</li> </ul>	<p>* 荒井 風間 萩原 前山 四柳</p>
	<p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例係会開催</li> <li>・ 研修会の開催・家族会機関紙「とくまの風」の発行</li> <li>・ 古紙、資源回収による資金確保</li> <li>・ 雑誌、書籍の案内、情報発信</li> <li>・ NPO法人ながのかれんへの協力</li> </ul> <p>※会議（総会、監査、役員会）は新型コロナウイルス感染拡大予防のため書面にて対応。</p>	
	<p>まとめと成果</p> <p>『家族の日』を6月から毎月開催とし、家族会の核事業と位置づけ行っていたが、参加者がなく開催できない月もあった。開催できた月には1名～3名程度の出席者があり、意見交換と交流の場となった。今後も『家族の日』を中心にもう少し会員が集まれるような企画を考えて運営していく。</p>	

3 権利擁護・ 苦情対応・ 個人情報検 討係	目標 ヒヤリハットや苦情の対応、第三者委員の活用	* 上野 小林き 小林た 和田
	具体的活動 ・ 月1回の定期的な係会 ・ 第三者委員と苦情解決責任者を招いての定期懇談会（年3回）	
	まとめと成果 ・ ヒヤリハット及び、みなさまの声に寄せられた意見について係で共有し、検討した。みなさまの声に関しては常務理事や施設長から本人へ回答をしてもらった。 ・ 定期懇談会でいただいた意見等は、今後の支援に活かす為職員会で報告した。 ・ 今年度は新たに虐待のDVDを購入し、職員研修の一つとして活用した。	
4 ホーム ページ係	目標 動きのあるホームページの運用 事業方針に合わせた内容の更新	* 田村 小沼 清水
	具体的活動 各事業所ごとの適時更新により、ホームページの動きの頻度を増やした。インスタグラムも適時更新があることで、ホームページのトップページの視覚的にも動きを出すことができた。	
	まとめと成果 まずは大きなトラブルもなく運用された。インスタグラムも更新され、利用者のフォローも継続して付いている。ホームページでの発信が加算の一つにもなるので、一層の情報発信と広報利用が見込まれる。	
5 BCP (業務継続 計画)	目標 BCPの作成、見直し	* 北澤 池田 上野 山口
	具体的活動 1. 感染症対策のBCPの見直し 2. 災害時のBCPの作成 3. 備品の確認、確保 4. 研修への参加	
	まとめと成果 ・ 新型コロナウイルスが2類から5類に変更になったことにもない感染症のBCPは見直すことができた。 ・ 災害時のBCPは新たに作成することができた。 ・ 今後は定期的にBCPを見直しながら現状に合った計画作成に努める。 ・ 備品は非常時に備え定期的に確認をしていく。	

## 資料 2

### 令和 5 年度 地域交流・地域貢献事業への参加状況

行事名・場所・日時	交流内容	参加人数
「ワークス上駒による上駒沢地区清掃」 ワークス上駒&ホール及びスローステップ周辺 ①令和5年6月9日 ②令和5年9月15日 ③令和5年11月17日	ワークス上駒の作業として、スローステップの事業所と共同で、上駒沢地区清掃を実施した。内容は、ワークス上駒&ホール及びスローステップ周辺の除草及び側溝清掃等を行うものであった。	①利用者：20名 職員：8名 ②利用者：20名 職員：8名 ③利用者：25名程度 職員：8名
「地域の食生活改善推進員による食事会」 スローステップ ①令和5年9月26日	スローステップにて地域の食生活改善推進員に食事を提供してもらう食事会を実施した。食生活改善推進員を中心に、利用者や職員も協力して調理や配膳をし、食生活改善推進員の解説を聞きながら食事を楽しんだ。	①利用者：25名 職員：6名
「上駒沢地区獅子舞」 ワークス上駒&ホール 令和5年9月10日	ワークス上駒&ホールにて、上駒沢地区による獅子舞を実施してもらった。	利用者：2名 職員：2名
「ゆったりんどうによる靴下の販売」 ①長野県障がい者福祉センターサンアップル芸術祭 ②長野県障がい者福祉センターサンアップル芸術祭 ③若槻地区総フェスティバル ①令和5年7月22日 ②令和5年9月23日 ③令和5年10月29日	ゆったりんどうで委託販売を行なっている靴下を販売した。利用者や職員が接客を行った。	①利用者：1名 職員：1名 ②利用者：2名 職員：1名 ③利用者：2名 職員：1名

## 資料 3

### 令和 5 年度 苦情解決状況

苦情受付日	苦情内容	解決経過
10/30 ~ 12/7 電話 4 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、スタッフが感情的、一方的にならず、受け止めてほしい。 施設内でトラブルを起こすから退所させようとしている。面接で突如、即刻退所を告げられた。利用者を大事に扱ってほしい。できないのであれば、担当を替えてほしい。	退所については、本人の意向もその都度確認しながら、進めているが、左記のような受け止めになる支援をしてしまったことについては反省し、改善をする。 担当替えについては、改善に努めたことから変更なしで終結した。
12/5 ~ 12/26 メール 1 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、風呂場で排泄をしてしまう利用者がいる。気持ちよく入浴できるようにしてほしい。また、困っている方に我慢を強いたり、生活の場を変えろというのは不当ではないかという訴え。	排泄物については、入浴のたび職員が確認したが汚物はないため、安心して入浴してほしい。また、利用者の意思に反して退所を強制することはない。職員の対応が不適切であった。反省し今後の支援に当たることを伝えた。自分が悪いのではないことが分かったことで終結した。

## 資料4

### 令和5年度 施設利用料等一覧

施設種別	項目	金額(円)	その他
生活訓練事業 (フレッシュとくま) (宿泊型)	利用料(月額)	21,000	
	食事代(月額)	20,400	昼食代は含まない
	日常生活費(月額)	3,500	
	光熱費(月額)	8,700	
	個室電気料	実費	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
生活訓練・ 生活介護事業 (日中)	利用料(月額)	* 0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
ショートステイ施設	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
	自立体験事業利用料		市町村で定められた自己負担額
	諸経費(日額)	1,030	
	食事代(日額)	680	
就労支援事業 (ワークス上駒)	利用料(月額)	* 0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
就労支援事業 (ゆったりんどう)	利用料(月額)	* 0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
グループホーム	家賃(いなだの家)	25,000	定員6人(所得により上限10,000円補助あり)
	家賃(こまざわハウス)	26,000	定員5人(所得により上限10,000円補助あり)
	家賃(のくとまーる)	30,000	定員10人(所得により上限10,000円補助あり)
	家賃 (サテライトレジデンス KURASAWA)	30,000	定員1人(所得により上限10,000円補助あり) ※R 5.9.30でサテライト終了
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
	傷害保険料(年額)	実費	
	食費(月額)	実費	
	光熱水費(月額)	実費	
	諸経費(月額)	実費	

\* 令和5年4月1日より各施設の日中活動利用料はなくなりました

## 資料5

### 令和5年度 職員外部研修参加状況一覧

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
1	福祉職員生涯研修 管理者課程	長野県社会福祉協議会	5/6・7	2	1	2
2	第1回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	6/6	1	2	2
3	令和5年度算定基礎届事務講習会	長野南年金事務所・協会けんぽ	6/20	1	1	1
4	第1回事業検討・サービス評価委員会	長野県障がい者福祉センター	6/21	1	1	1
5	救命講習 救命入門コース	長野市消防局	7/26	1	2	2
6	長野県相談支援従事者初任者研修	長野県相談支援専門員協会	7月～9月	7	2	14
7	福祉・介護事業所BCP策定推進セミナー	長野県社会福祉協議会	8/21・22	2	2	4
8	福祉職員生涯研修 中堅職員課程	長野県社会福祉協議会	8/24・25	2	2	4
9	長野県経営協セミナー（前期）	長野県社会福祉法人経営者協会	9/6	1	1	1
10	第2回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	10/12	1	2	2
11	社会保険事務講習会	日本年金機構・協会けんぽ	10/13	1	1	1
12	保健医療福祉関係者研修「感染症から身を守る」	長野市保健所	10/13	1	1	1
13	生涯研修 OJTリーダー研修	長野県社会福祉協議会	10/27 12/8	2	1	2
14	苦情対応システム研修会	長野県福祉サービス運営適正化委員会	11/16	1	6	6
15	監事専門講座	全国社会福祉協議会	11/29・30	2	1	2
16	管理者向け障害者虐待防止・権利擁護研修	長野県	11月	1	1	1
17	相談支援従事者現認者研修	おきなわ相談者支援ネットワーク	11/28 1/25・26	3	2	6
18	サービス管理責任者更新研修	長野県相談支援専門員協会	12/11	1	1	1
19	長野県経営協セミナー（後期）	長野県社会福祉法人経営者協会	1/16	1	1	1
20	長野県セルフセンター協議会北信ブロック会議研修「農福連携で工賃アップを」	長野県セルフセンター協議会	1/23	1	1	1
21	精神障害者にも対応した地域包括ケアの構築に係る学習会	長野市障害ふくしネット	1/23	1	1	1
22	第2回事業検討・サービス評価委員会	長野県障がい者福祉センター	1/26	1	1	1
23	令和5年度世話人連絡会	長野市福祉ねっと	1/26	1	1	1
24	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1/30	1	1	1

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
25	ねんきん説明会	長野南年金事務所・協会けんぽ	2/5	1	1	1
26	長野市手をつなぐ育成会学習会 日常生活自立支援事業 お金の管理の現場から	長野市手をつなぐ育成会	2/8	1	1	1
27	令和5年集団指導	長野市	2/9	1	1	1
28	普通救命講習Ⅰ	長野市消防局	2/15	1	1	1
29	第3回 支援技法セミナー	長野障害者職業センター	2/16	1	1	1
30	第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	2/21	1	3	3
31	権利擁護推進セミナー	長野県社会福祉法人経営者協議会	2/27	1	1	1
32	「福祉大臣」決算 Web セミナー	応研 株式会社	2月下旬	1	1	1
33	上級救命講習	長野市消防局	3/14	1	1	1
34	福祉人材確保・定着セミナー	長野県社会福祉協議会	3/21	1	1	1
35	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定説明会	長野市（障害福祉課）	3/25	1	2	2
	職員自己啓発援助制度（SDS）【介護福祉士】	三幸福祉カレッジ	3/4～		1	

## 資料6

### 令和5年度 視察見学者の状況

視察見学者団体名	見学日	人数	備考
長野県長野養護学校	令和5年6月14日(水)	高等部1学年 生徒：30名 職員：12名	
若槻地区民生児童委員	令和5年6月29日(木)	若槻地区民生児童委員 7名	施設見学 障害理解の研修・ 交流等

## 資料7

### 令和5年度 実習生受入状況

実習依頼機関	実 習 者	実習期間	実習内容
長野県 長野養護学校	高等部3年（前期）：1名	令和5年6月6日（火）～ 令和5年6月24日（土）	ワークス上駒現場実習
長野県 若槻養護学校	高等部1年：6名	令和5年10月23日（月）～ 令和5年10月27日（金）	ワークス上駒・ゆったり らんど職場実習

### 3 令和5年度 収入支出決算状況 法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	10,448,000	10,475,626	△ 27,626
		障害福祉サービス等事業収入	218,415,000	214,652,913	3,762,087
		経常経費寄附金収入	600,000	1,074,865	△ 474,865
		受取利息配当金収入	3,000	1,898	1,102
		その他の収入	367,000	962,166	△ 595,166
		事業活動収入計 (1)	229,833,000	227,167,468	2,665,532
	支出	人件費支出	161,532,000	145,552,843	15,979,157
		事業費支出	22,723,000	19,420,698	3,302,302
		事務費支出	22,357,000	16,803,590	5,553,410
		就労支援事業支出	15,434,000	15,911,270	△ 477,270
		支払利息支出	38,000	29,762	8,238
		その他の支出	810,000	1,248,391	△ 438,391
	事業活動支出計 (2)	222,894,000	198,966,554	23,927,446	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		6,939,000	28,200,914	△ 21,261,914	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄附金収入	100,000	0	100,000
		施設整備等収入計 (4)	100,000	0	100,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,512,000	1,512,000	0
		固定資産取得支出	8,000,000	7,297,510	702,490
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,238,000	1,236,840	1,160
施設整備等支出計 (5)	10,750,000	10,046,350	703,650		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 10,650,000	△ 10,046,350	△ 603,650	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	9,300,000	10,153,984	△ 853,984
		その他の活動による収入	0	242,792	△ 242,792
		その他の活動収入計 (7)	9,300,000	10,396,776	△ 1,096,776
	支出	積立資産支出	5,539,000	4,680,952	858,048
		その他の活動支出計 (8)	5,539,000	4,680,952	858,048
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		3,761,000	5,715,824	△ 1,954,824	
予備費支出 (10)		4,000,000	0	4,000,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 3,950,000	23,870,388	△ 27,820,388	

前期末支払資金残高 (12)	197,410,071	197,410,071	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)	193,460,071	221,280,459	△ 27,820,388

# 法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	10,475,626	11,184,033	△ 708,407
		障害福祉サービス等事業収益	214,652,913	194,535,962	20,116,951
		経常経費寄附金収益	1,074,865	11,327,000	△ 10,252,135
		サービス活動収益計(1)	226,203,404	217,046,995	9,156,409
	費用	人件費	146,143,912	141,033,903	5,110,009
		事業費	19,420,698	21,187,511	△ 1,766,813
		事務費	16,803,590	16,803,591	△ 1
		就労支援事業費用	15,928,871	16,067,312	△ 138,441
		減価償却費(サービス)	16,633,400	13,410,483	3,222,917
		国庫補助金等特別積立金取崩額(サ)	△ 7,986,797	△ 6,906,589	△ 1,080,208
サービス活動費用計(2)	206,943,674	201,596,211	5,347,463		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		19,259,730	15,450,784	3,808,946	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,898	4,461	△ 2,563
		その他のサービス活動外収益	962,166	566,020	396,146
		サービス活動外収益計(4)	964,064	570,481	393,583
	費用	支払利息	29,762	33,844	△ 4,082
		その他のサービス活動外費用	18,690	15,479	3,211
		サービス活動外費用計(5)	48,452	49,323	△ 871
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		915,612	521,158	394,454	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		20,175,342	15,971,942	4,203,400	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	26,100,000	△ 26,100,000
		施設整備等寄附金収益	0	366,000	△ 366,000
		その他の特別収益	242,792	242,792	0
		特別収益計(8)	242,792	26,708,792	△ 26,466,000
	費用	基本金組入額	0	10,767,000	△ 10,767,000
		固定資産売却損・処分損	0	1	△ 1
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	26,100,000	△ 26,100,000
		その他の特別損失	165,600	165,600	0
		特別費用計(9)	165,600	37,032,601	△ 36,867,001
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		77,192	△ 10,323,809	10,401,001
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		20,252,534	5,648,133	14,604,401	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		219,527,112	172,614,979	46,912,133
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		239,779,646	178,263,112	61,516,534
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		8,000,000	46,130,577	△ 38,130,577
	その他の積立金積立額(16)		3,000,000	4,866,577	△ 1,866,577
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		244,779,646	219,527,112	25,252,534

# 法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	234,268,996	206,188,649	28,080,347	流動資産	15,657,336	11,481,696	4,175,640
現金預金	199,555,354	173,765,130	25,790,224	事業未払金	6,584,587	5,125,980	1,458,607
事業未収金	34,051,211	31,586,222	2,464,989	その他の未払金	4,700,000	2,145,365	2,554,635
原材料	28,121	45,722	△ 17,601	1年内返済予定設備資金借入金	1,512,000	1,512,000	0
前払金	634,310	791,575	△ 157,265	1年内返済予定リース債務	1,184,920	1,236,840	△ 51,920
固定資産	421,381,816	436,190,738	△ 14,808,922	預り金	2,974	18,469	△ 15,495
基本財産	386,888,614	399,272,108	△ 12,383,494	職員預り金	1,672,855	1,443,042	229,813
土地（基本）	107,392,800	107,392,800		固定負債	27,629,478	30,799,430	△ 3,169,952
建物（基本）	278,495,814	290,879,308	△ 12,383,494	設備資金借入金	8,694,000	10,206,000	△ 1,512,000
定期預金（基本）	1,000,000	1,000,000		リース債務	869,550	2,054,470	△ 1,184,920
その他の固定資産	34,493,202	36,918,630	△ 2,425,428	退職給付引当金	18,065,928	18,538,960	△ 473,032
建物	179,209	206,427	△ 27,218	負債の部合計	43,286,814	42,281,126	1,005,688
建物附属設備	412,087	642,937	△ 230,850				
構築物	6,998,285	615,647	6,382,638				
車輜運搬具	3	3	0	純 資 産 の 部			
器具及び備品	5,485,027	7,113,513	△ 1,628,486	基本金	171,470,885	171,470,885	0
有形リース資産	1,483,350	2,097,150	△ 613,800	第1号基本金	81,840,885	81,840,885	0
権利	130,000	130,000	0	第3号基本金	89,630,000	89,630,000	0
ソフトウェア	405,643	617,283	△ 211,640	国庫補助金等特別積立金	196,113,467	204,100,264	△ 7,986,797
無形リース資産	623,040	1,246,080	△ 623,040	その他の積立金	0	5,000,000	△ 5,000,000
リサイクル預託金	30,630	30,630	0	設備等整備積立金	0	5,000,000	△ 5,000,000
その他固定資産（無形）	680,000	680,000	0	次期繰越活動増減差額	244,779,646	219,527,112	25,252,534
退職給付引当資産	18,065,928	18,538,960	△ 473,032	次期繰越活動増減差額	244,779,646	219,527,112	25,252,534
施設整備積立資産	0	5,000,000	△ 5,000,000	(うち当期活動増減差額)	20,252,534	5,648,133	14,604,401
資産の部合計	655,650,812	642,379,387	13,271,425	純資産の部合計	612,363,998	600,098,261	12,265,737
				負債及び純資産の部合計	655,650,812	642,379,387	13,271,425

# 財 産 目 録

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価 額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	312,739
普通預金	八十二銀行 長野北支店 他	—	”	—	—	199,242,615
	小計					199,555,354
事業未収金		—	自立支援給付費 2,3 月 他	—	—	34,051,211
原材料		—	喫茶 棚卸	—	—	28,121
前払金		—	GH 家賃 他	—	—	634,310
流動資産合計						234,268,996
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	長野市大字徳間 3222 番地	—	第二種社会福祉事業である、フレッシュとくま施設に使用	—	—	29,200,000
	長野市大字上駒沢 401 番地 1	—	第二種社会福祉事業である、こまざわハウス施設に使用	—	—	10,696,000
	長野市大字上駒沢 429 番地 1	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設、スローステップ施設に使用	—	—	67,000,000
	長野市大字上駒沢 401 番地 16	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設に使用	—	—	15,000
	長野市大字上駒沢 402 番地 7	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設に使用	—	—	6,300
	長野市大字上駒沢 401 番地 15	—	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設に使用	—	—	475,500
	小計					107,392,800
建物	長野市大字徳間 3222 番地	H11 年度	第二種社会福祉事業である、フレッシュとくま施設に使用	227,155,938	107,186,172	119,969,766
	長野市大字上駒沢 401 番地 1	H22 年度	第二種社会福祉事業である、こまざわハウス施設に使用	6,858,512	4,629,501	2,229,011
	長野市大字上駒沢 429 番地 1	H22 年度	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設に使用	134,403,476	47,478,030	86,925,446
	長野市大字上駒沢 429 番地 1	R2 年度	第二種社会福祉事業である、スローステップ施設、東物置に使用	330,000	161,233	168,767
	長野市大字上駒沢 426 番地 3	R4 年度	第二種社会福祉事業である、新こまざわハウス施設に使用	72,832,300	3,629,476	69,202,824
	小計					278,495,814
定期預金	八十二銀行 長野北支店	—	第二種社会福祉事業 特段の指定なし	—	—	1,000,000
基本財産合計						386,888,614

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価 額
(2) その他の固定資産						
建物	長野市大字徳間 963 番地イ他	H17 年度	第二種社会福祉事業である、ワークス上駒施設等に使用	1,185,307	1,006,098	179,209
建物付属設備	防災監視盤他	—	第二種社会福祉事業である、フレッシュとくま施設等に使用	1,846,800	1,434,713	412,087
構築物	スローステップ 塀・駐車場他	—	”	11,310,540	4,312,255	6,998,285
車輛運搬具	トヨタ ハイエース他 2 台	—	”	6,043,718	6,043,715	3
器具及び備品	防犯カメラ装置他	—	”	33,068,128	27,583,101	5,485,027
有形リース資産	日産セレナ	—	”	3,069,000	1,585,650	1,483,350
権利	電話加入権	—	”	130,000	—	130,000
ソフトウェア	経理ソフト他	—	”	5,356,180	4,950,537	405,643
無形リース資産	国保連給付費請求 ソフト	—	”	3,115,200	2,492,160	623,040
リサイクル 預託金	トヨタ ハイエース他 2 台	—	”	30,630	—	30,630
その他 固定資産	グループホーム 敷金	—	第二種社会福祉事業である、指定共同生活援助施設で使用	680,000	—	680,000
退職給付 引当資産	県社会福祉協議会 年金共済預け金	—	将来における職員の退職 給付目的	—	—	18,065,928
その他の固定資産合計						34,493,202
固定資産合計						421,381,816
資産合計						655,650,812
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	就労事業工賃他	—	/	—	—	6,584,587
その他の 未払金	スローステップ 塀・駐車場工事代	—		—	—	4,700,000
1 年以内返済 予定設備 資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	1,512,000
1 年以内返済 予定リース 債務	リコーリース他	—		—	—	1,184,920
預り金	税理士報酬源泉所 得税税預り他	—		—	—	2,974
職員預り金	社保、所得税他	—		—	—	1,672,855
流動負債合計						15,657,336
2 固定負債						
設備資金 借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—	/	—	—	8,694,000
リース債務	リコーリース他	—		—	—	869,550
退職給付 引当金	県社会福祉協議会 年金共済	—		—	—	18,065,928
固定負債合計						27,629,478
負債合計						43,286,814
差引純資産						612,363,998

## II 各サービス事業の実績

### 1 指定生活介護事業（定員 17 人）（フレッシュとくま）

令和 5 年度は、利用者に安定した活動を提供し、体調を崩さず安定して継続利用ができるよう支援した。

1 日平均利用者数は 17.3 人で、ほぼ定員に近い利用者数であった。給付費収入は 25,933 千円で前年度と比べて 936 千円増となった。

#### (1) 主な取り組み

- ・利用者が見通しを立てやすいように安定した日中活動を提供した。
- ・利用者が楽しく思えるような活動を検討し、取り入れた。
- ・軽作業を行い、活動にメリハリをつけた。
- ・精神的不調だけでなく内科的不調も早期に発見できるよう、利用者への健康観察を毎日重点的に行った。
- ・希望する利用者には、入浴や洗濯の支援を行った。
- ・利用者のニーズに合った余暇支援（外食や外出等）を取り入れた。

#### (2) 実績

##### ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和 4 年度	4,012	16.6	45	7
令和 5 年度	4,205	17.3	40	3
比 較	193	0.7	△ 5	△ 4

##### イ 月別利用実績

令和 5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	21	20	21	20	21	19	19	20	244 日
延利用者数	336	361	375	361	335	341	353	348	380	341	324	350	4,205 人
実利用者数 / 月	38	38	38	37	37	37	37	36	37	37	37	37	37.1 人
平均利用者数 / 日	16.8	17.2	17.1	18.1	16.0	17.1	16.9	17.4	18.1	18.0	17.1	17.5	17.3 人

#### 課題と今後の取り組み

- ・活動場所が 4 階であり、階段がある事やフロアの大きさなどが実情に合わない。場所の検討が必要。
- ・利用者の高齢化が進んでおり、高齢者支援を含めた柔軟な対応が求められる。
- ・引き続き利用者の毎日の健康観察を重視する。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 23	0	0	2	12	9
女 14	0	1	1	3	9
計 37	0	1	3	15	18

障害支援区分別数 (人)

性別 数	区分 2	区分 3	区分 4
男 23	13	8	2
女 14	9	4	1
計 37	22	12	3

市町村別 (人)

長野市	山ノ内町
36	1

## 2 指定短期入所事業（定員3人）（フレッシュとくま）

宿泊型訓練の体験利用だけでなく、レスパイト目的の利用者や定期利用者も受入れをした。

1日平均利用者数は0.7人だった。給付費収入は1,244千円で前年度に比べて179千円減であった。

### (1) 主な取り組み

- ア さまざまな利用目的に対応した。
- イ 家族、相談支援専門員、病院のケースワーカーと連携した。
- ウ 病院から、地域移行の体験利用を受入れた。

### (2) 実績

ア 年度比較 (人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	実利用者数
令和4年度	271	0.8	22
令和5年度	285	0.7	24
比 較	14	△0.1	2

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
延利用者数	35	36	14	18	22	12	19	21	25	25	28	30	285人
平均利用者数/日	1.1	1.1	0.4	0.5	0.7	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.7人

#### 課題と今後の取り組み

- ・ 定期利用者の利用目的によっては入所に繋がるよう働きかける。
- ・ 緊急対応を求められることも多いが、行政等関係機関と連携を密にして対応したい。

### 3 指定自立訓練（宿泊型）事業（定員17人）（フレッシュとくま）

令和5年度は、年度当初は7人の入所者であったが、徐々に増えてきた。医療観察法対象者や更生保護施設からの利用希望者を受け入れた。感染症予防にも引き続き取り組み、食卓のパーテーションの設置や毎日2回の検温を継続した。退所後の住まいとして当法人のグループホームへ2人、別法人へのグループホームへ1人、単身アパートへ1人入居した。

1日平均利用者数は8.9人で、前年度とほぼ同じであった。給付費収入は21,492千円で前年度に比べ、1,879千円増となった。

#### (1) 主な取り組み

##### ア 個別支援計画に基づいて質の高い支援

- ・ 3ヶ月ごとの振り返りを行い、要望等を聞き取りニーズに反映した。

##### イ 利用者の確保

- ・ 年間を通して医療機関、行政等との情報交換や協力をお願いした。

##### ウ 安全で衛生的な環境への配慮

- ・ 新型コロナウイルス感染予防の徹底のため、継続して食卓にパーテーションを設けた。
- ・ 毎日2回の検温を実施した。
- ・ マスク着用の徹底をした。
- ・ 防災設備の定期的な点検、維持を行った。
- ・ 防災訓練を毎月実施した。
- ・ 生活の場にふさわしい快適な環境を提供した。

## (2) 実績

## ア 年度比較

(人)

	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和4年度	3,211	8.8	14	7
令和5年度	3,272	8.9	15	4
比較	61	0.1	1	△3

## イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
延利用者数	194	270	209	212	245	266	305	325	302	295	315	334	3,272人
契約者数/月	8	9	8	8	9	9	10	12	10	10	11	11	8.9人
平均利用者数/日	6.4	8.7	6.9	6.8	7.9	8.8	9.8	10.8	9.7	9.5	10.8	10.7	8.9人

## 課題と今後の取り組み

医療観察法の対象者や更生保護施設からの入所者が増え、それに伴い給付費も増加したが、手厚い支援も必要になる。今後、このような対象者からの入所希望には、対象行為の原因など慎重に検討し、施設として受け入れられるかを判断していく必要がある。

## 資料（令和6年3月31日現在）

## 年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 9	1	2	2	2	1	1
女 3	0	0	1	2	0	0
計 12	1	2	3	4	1	1

## 障害支援区分別数

(人)

区分1	区分2	区分3	区分4	不明
1	4	1	1	4

## 市町村別

(人)

長野市	千曲市	中野市	木島平村	飯綱町	飯山市	山ノ内町
4	2	1	1	1	1	1

## 4 指定自立訓練(生活訓練)事業(定員10人 令和5年7月より6人に変更)(フレッシュとくま)

宿泊型訓練の利用者を中心に、生活リズムの確立や将来の生活スキルの向上、身近な社会資源の体験利用ができるよう支援した。2年の満期の前に就労事業所との併用利用者が多くなり、利用者数減に伴い年度途中で定員変更をした。延べ契約者数が15人と昨年度より3人増加した。

平均利用者数は減少したが、社会生活支援特別加算がつく利用者支援で給付費収入は14,369千円と昨年度より594千円増となった。

### (1) 主な取り組み

- ・その人らしい生活ができるよう、自主性・自発性を尊重した。
- ・個別支援計画に基づき個人の目標がぶれないよう、今やるべきこと、目指すべきことを確認しながら支援をした。
- ・今後の生活に必要なスキルが身に着くよう支援した。

### (2) 実績

#### ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和4年度	1,409	5.9	12	5	5
令和5年度	1,391	5.8	15	5	8
比 較	△18	△0.1	3	0	3

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延利用者数	85	103	98	105	122	133	137	139	119	105	126	119	1,391人
実利用者数/月	5	7	8	8	9	10	10	11	11	10	11	9	9.0人
平均利用者数/日	4.3	5.2	4.5	5.3	6.4	6.7	6.5	7.0	6.0	5.5	6.6	6.0	5.8人

### 課題と今後の取り組み

利用者個々の社会生活スキルや利用者が目指す生活に幅があるため、共通の支援プログラムで個々のスキルを上げ、評価するのは難しい。今後は、社会生活の自立度評価指標(SIM)等利用し、的確な評価と具体的支援につなげられるようにしていく。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
男 8	1	2	3	2	0
女 2	0	0	0	1	1
計 10	1	2	3	3	1

障害福祉サービス支給市町村 (人)

性別 数	長野市	千曲市	飯山市	飯綱町	木島平村
男 8	4	1	1	1	1
女 2	2	0	0	0	0
計 10	6	1	1	1	1

## 5 指定共同生活援助事業（定員27人 令和5年9月より26人に変更）（グループホーム）

令和5年度はグループホームごとの特色を出し運営に当たった。

令和5年4月より新たに「こまざわハウス」(10人定員)を開設した。こまざわハウスでは食事提供をし、居室の掃除、洗濯、金銭相談、手続き等を利用者と行い、より手厚い支援をした。また、必要な利用者に対しては同行受診を行った。

「いなだの家」では食事提供をし、利用者ができることをより増やせるようにグループホーム内の掃除、夕食の片づけ等の当番活動を実施した。地域に馴染み生活できるようにグループホームの周りの草取り、地区のゴミ当番の実施、地区清掃へ参加した。

「のくとまーる」では、定期的に居室を訪問し生活の様子（食事、掃除、金銭の状況、薬、体調等）の確認をした。一人暮らしを希望した利用者に対しては公営住宅の申し込み、アパートの物件を探し、必要な助言等を行った。1名を一人暮らしにつなげることができた。

サテライト型グループホーム利用者1名が一人暮らしに移行したため、定員は27人から26人へ変更した（令和5年10月～）。利用希望者がいない事と物件が見つからなかったため閉鎖した。

1日平均利用者数は20.3人で前年度に比べ2.6人増となった。給付費収入は31,647千円で前年度に比べて5,291千円増となった。

### (1) 主な取り組み

#### ア 日常生活について

- ・調理、掃除、買い物、金銭管理、服薬確認等を補助した。
- ・家族、日中活動先等の連絡調整を行った。
- ・対人関係、日常生活の不安や課題を解決するため、定期的に面談を行った。

- ・日中世話人が住居を巡回して在宅の利用者の支援を行った。

イ 地区交流事業について

- ・地区の清掃事業に参加（河川・側溝・公園・神社等）。

(2) 実績

ア 年度比較表

(人)

	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者	新規利用者数	解約者数
令和4年度	6,818	17.7	19	6	3
令和5年度	7,395	20.3	22	5	5
比較	577	2.6	3	△1	2

イ 月別利用実績表

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用者数	585	599	630	595	583	596	620	622	652	654	615	644	7,395
実利用者数/月	20	21	23	21	21	23	20	21	22	22	23	22	259
体験利用者数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
平均利用者数/日	19.4	19.3	21.0	19.1	18.8	19.9	20.0	20.7	21.7	21.0	21.2	20.8	20.2

課題と今後の取り組み

- ・入居者一人ひとりの生活力（IADL）に差があり画一的な支援では足りず、今後も個別の対応を求められる。
- ・高齢な利用者に対しては、本人や家族と相談しながら地域包括支援センターと連携し、介護保険サービスの導入を検討していく。
- ・一人暮らし生活を希望する利用者に対しては、支援を引き続き行う。
- ・日中活動先に体調不良等で欠席した利用者に対しては、日中支援を行っていく。
- ・今後も新規利用者を積極的に受け入れていく。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 14	1	2	4	3	4
女 8	1	0	5	2	0
計 22	2	2	9	5	4

障害支援区分別数 (人)

施設	区分 1	区分 2	区分 3	全体
こまざわハウス	0	4	5	9
いなだの家	1	2	1	4
のくとまーる	2	6	1	9
合計	3	12	7	22

市町村別 (人)

長野市	千曲市	須坂市	佐久市	麻績村	小川村	信濃町
14	3	1	1	1	1	1

## 6 指定自立生活援助事業（定員なし）（自立生活支援室）

今年度は6人に対して定期訪問し日常生活の見守りや金銭管理等、安定した一人暮らしの定着に向け支援を行った。金銭管理は社会福祉協議会の日常生活自立支援事業に繋げた。また、生活面については居宅介護事業等必要なサービスを導入し、地域での生活を継続できるように支援した。スムーズに日常生活自立支援事業や居宅介護に繋げることができ、延長する利用者が少なかったため利用人数、利用実数も減少した。1日平均利用人数は0.7人で前年度に比べ0.2人減となった。給付費収入は764千円で前年度に比べて223千円減となった。

### (1) 主な取り組み

#### ア 状況確認について

- ・定期的な訪問、面接等により本人の生活状況を把握した。
- ・必要に応じ銀行や医療機関等へ同行し手続等を一緒に行った。

#### イ 相談について

- ・訪問及び面接時に困っていることや不安に思っていること等の相談を受け、解決に向けて一緒に取り組んだ。
- ・利用終了時を考え、必要なサービスの情報提供や利用に向けての支援をした。

ウ 関係機関との連絡調整

- ・課題等の解決に向けて、相談支援専門員はじめ、日中の利用施設等関係機関との連絡調整を行った。

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

年 度	延契約者数	新規利用者数	延長者数	解約者数
令和4年度	8	3	2	5
令和5年度	6	3	0	3
比 較	△2	0	△2	△2

イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均／合計
開所日数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	241日
延支援回数	11	14	18	22	21	9	8	8	13	14	19	16	173回
登録実人数／月	3	3	4	5	5	2	2	2	3	3	3	3	3.2人

課題と今後の取組

- ・一人暮らし等新しい生活に慣れ、地域に馴染めるように支援をしていく。
- ・金銭管理の面で支援が必要な利用者に対しては、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業に繋げる。
- ・今後も新規利用者確保に努める。

資 料 (令和6年3月31日現在)

年代別数

(人)

性別 数	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
男 3					
女 3					
計 6	1	0	4	0	1

障害認定区分 (人)

なし	区分2
1	5

市町村別 (人)

長野市
6

## 7 指定就労継続支援B（I）型事業（定員34人）（ワークス上駒）

屋内作業の受注は徐々に増えてきており、新規の箱折り業者と契約をした為、収入は増えた。

屋外作業に関しては清掃業務、除草作業で安定した収入を得ることが出来た。今年度の平均工賃は算出方法が変わったこともあり28,618円。前年度に比べ5,367円増加した。

利用者の作業時間、利用日数を面談や会議の中で増やしていけるように働きかけをした。結果1日の平均利用者人数は28.3人と前年度に比べ0.2人増加している。

給付費収入は49,906千円と前年度に比べて257千円増となった。

### (1) 主な取り組み

- ・新規企業との契約。
- ・利用者の作業時間と利用日数を増やす働きかけを行った。
- ・ハローワークへの登録や求人情報の提示、就労継続支援A型への移行などの就労支援。
- ・新規利用者確保のため、パンフレットを関係機関に配布した。

### (2) 実績

#### ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	新規契約者数	解約者数
令和4年度	6,828	28.1	41	0	4
令和5年度	6,792	28.3	36	6	9
比 較	△36	0.2	△5	6	5

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延利用者数	571	566	616	573	515	579	620	559	575	529	530	559	6,792人
実利用者数/月	39	39	40	37	37	37	37	37	38	38	38	37	48.0人
平均利用者数/日	28.6	28.3	28.0	28.7	27.2	29.0	29.6	28.0	28.8	27.9	27.9	27.5	28.3人

### 課題と今後の取り組み

新規での利用者の確保が出来ていない現状があるため、養護学校の実習生受け入れや各機関へのパンフレット配布等の活動をしていく。来年度は清掃作業、植栽管理の範囲、回数が減ったことで収入減が見込まれる。今後は新規の開拓、拡大を図っていく。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数

(人)

性別 数	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代
男 26	0	4	3	7	8	4
女 10	0	2	0	0	4	4
計 36	0	6	3	7	12	8

月別工賃支給状況

(小数点以下切り捨て)

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	39	14,397	43,480
5	38	14,360	40,520
6	38	15,231	45,260
7・賞与	38	36,532	94,340
8	37	12,633	38,000
9	37	14,763	35,960
10	37	15,458	42,950
11・賞与	37	45,447	130,413
12	38	13,415	37,510
1	37	11,985	39,380
2	38	12,575	42,400
3・賞与	38	51,247	166,182
平均月額		(R 5 年度) 28,618 円	(R 4 年度) 23,271 円

## 8 指定就労継続支援B(Ⅲ)型事業(定員10人令和5年7月より14人に変更)(ゆったりんどう)

開設2年目となり、それぞれの利用者に合わせた作業提供や集中できる作業環境作りなどに取り組んだ。また、作業の少ない時期には、外出プログラムや数人ずつでの昼食の外出など作業以外の活動も行った。事業所への送迎があることで、利用希望者が増えており、毎日2台の車で迎え、昼に午前中のみ利用者を送り、午後にも1日利用の利用者を送迎した。

その結果1日平均利用者数は13.7人で前年度に比べ3.9人増となった。

給付費収入は24,744千円で前年度に比べ9,430千円増となった。

### (1) 主な取り組み

- ・利用者の多様なニーズに合わせた働く場の提供。
- ・地域と連携した生産活動に取り組む。

## (2) 実績

## ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均 利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和4年度	2,345	9.8	28	4	28
令和5年度	3,279	13.7	33	5	9
比 較	934	3.9	5	1	△19

## イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延利用者数	243	259	300	291	256	275	310	313	288	244	241	259	3,279人
実利用者数/月	25	26	27	28	28	28	30	29	31	29	28	28	28.0人
平均利用者数/日	12.2	13.0	13.7	14.6	13.5	13.8	14.8	15.7	14.4	12.9	12.7	13.0	13.7人

## 課題と今後の取り組み

令和5年度途中に利用希望者増のため定員変更をした。現在、1日の利用希望者は定員をオーバーしているが、1日の利用者数は体調や季節、天候などに左右され、利用予定になっていても欠席が続くこともある。今後の課題として、利用者それぞれの状況や目標に合った利用予定日数を見直ししていく必要がある。

また、利用者が増えてくる中で作業量の確保が難しくなっている。幅広い利用者を受け入れる中で、関われる作業についても幅広く準備していく必要がある。また、作業工程を工夫しより多くの利用者が関われるよう検討していく。

## 資料(令和6年3月31日現在)

## 年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男 14	0	2	3	3	3	3
女 15	0	0	5	5	5	0
計 29	0	2	8	8	8	3

月別工賃支給状況

月	支給人員（人）	工賃支給金額（円）	
		月平均額	月最高額
4	25	3,382	5,251
5	26	4,182	5,908
6	27	4,320	5,562
7	28	6,711	8,263
8	28	4,235	6,156
9	28	3,940	6,094
10	31	6,264	7,992
11	31	7,254	8,028
12	32	4,507	5,723
1	33	4,734	6,689
2・賞与	33	3,959	5,797
3	33	6,331	8,444
平均月額		(R 5年度) 4,985 円	(R 4年度) 3,696 円

## 9 指定就労定着支援事業（定員なし）（ワークス上駒 就労定着支援室）

令和5年度は2人に対して、就労継続の為の支援を実施した。1人は期間満了のため8月に支援終了となった。企業訪問で利用者や事業所と話し、課題があれば検討し就労継続の支援をした。

(1) 主な取り組み

- ・就労定着支援計画に基づいたサービスの提供。
- ・月1回以上の対面による面接等の実施をし仕事上の悩みや生活面での聞き取りのなかで困りごとの確認をした。
- ・月1回以上の企業訪問職場での様子から困っていること等を伝えた。
- ・企業・関係機関・家族等との連絡調整。
- ・職場環境がより働きやすくなるよう心掛けた。

(2) 実績

ア 年度比較 (人)

年 度	契約者数	新規利用者数	解約者数
令和4年度	5	0	3
令和5年度	2	0	1
比 較	△3	0	△2

### イ 月別利用実績

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延支援回数	4	4	5	6	4	2	2	2	2	2	2	2	37回
登録実人数/月	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1.4人

### 課題と今後の取り組み

就労定着のサービスが終了した後も42か月以上就労が継続している利用者が4人いたため新たに就労定着実績体制加算を付けることが出来た。また、就労継続支援のサービスを継続するための要件を満たせなかったためサービスは令和6年7月末で終了となる。現在利用している利用者は令和6年10月末まで期限があるため、期限までは訪問等の支援は継続していく。

## 10 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）（相談室）

コロナウイルス感染の影響が長引き、地域移行支援は今年度も難しい状況が続いた。病院や関係機関からの依頼は少なかったため件数は伸びず1件に留まっていた。地域定着支援では1人が退院の見込みが無いことから契約解除となり、新たに1人が契約となった。定期的な状況確認が中心で、緊急連絡などはなかった。

### (1) 主な取り組み

- ・地域移行支援（地域移行支援計画の作成等、地域生活移行のための相談、外出同行、障害福祉サービスの体験利用、体験的な宿泊支援）
- ・地域定着支援（地域定着支援台帳作成、連絡体制の確保、緊急時の状況把握・対応等）
- ・連携による地域生活支援（関係機関との連携強化）

### (2) 実績

#### ア 地域移行支援

年度	利用実人数	利用延月数	利用延人数	継続支援者数
令和4年度	2人	7か月	7人	1人
令和5年度	1人	2か月	8人	1人
比較	△1	△5	1	0

#### イ 地域定着支援

年度	利用実人数	利用延人数	緊急時支援
令和4年度	6人	65人	0回
令和5年度	7人	74人	0回
比較	1	9	0

## 課題と今後の取り組み

地域移行支援では、今後もコロナ感染の対応が緩んでくることが考えられるため、退院支援を進める病院も増加していくことが予測される。受け入れ体制についても考慮しながら検討していく。地域定着支援では、利用者の高齢化に向けて検討していく必要がある。

# 11 指定特定相談支援事業（相談室）

令和5年度は、専任2人、兼務5人の相談支援専門員がサービス等利用計画の作成を行った。利用者のニーズにあわせた福祉サービスの支給とより本人の意向に合う事業所の利用に向け調整やサービスの状況の確認を行った。また、相談支援専門員やサービス管理責任者の更新研修などの管理を行った。

## (1) 主な取り組み

- ・生活全般に関わる一般的相談、電話・訪問相談、情報提供、関係者間の連絡調整
- ・サービス等利用計画の作成（サービス利用支援、継続サービス利用支援）
- ・専門性の更なる向上のため研修等に参加

## (2) 実績

サービス等利用計画作成件数 (件)

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
令和4年度	230	518
令和5年度	234	453
比較	4	△65

## 課題と今後の取り組み

例年と同じく、福祉サービスを終了していくケースも定期的にあるため、今後も依頼があれば新規計画相談も受入れし、相談件数を維持していく。福祉事業を行なうに当たって、必ず専任での配置基準があるサービス管理責任者と計画相談を行う相談支援専門員資格の更新研修受講を漏れのないよう管理していくことと、職員が各資格研修を計画的に受講して資格取得できるようにしていくことがあげられる。

## 12 指定居宅介護・重度訪問介護事業（定員なし）（ヘルパーステーションてくてく）

利用者の地域生活継続のために必要な身体介護、家事援助、通院等介助を行った。支援回数は、月1回から週2回と支援内容や必要性により違いがあった。新規契約者が9人で実利用者数が30人となり、昨年度より7人増えた。新規利用者のうち2人が一人暮らしになって数年たつが、ごみ片付けや掃除ができなくて利用開始となった。給付費収入は5,674千円で昨年度より1,066千円増となった。

### (1) 主な取り組み

- ・安定した地域生活の継続のために利用者へ日常生活及び社会生活の総合的支援
- ・調理・洗濯・掃除・買物・通院介助・その他必要な援助
- ・必要に応じて健康や日常生活上の相談や助言

### (2) 実績

#### ア 年度比較

	実契約者数	延支援時間	延支援者数	新規利用者数	解約者数
令和4年度	23人	750時間	766人	6人	2人
令和5年度	30人	909.5時間	893人	9人	2人
比較	7人	159.5時間	127人	3人	0人

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延支援時間	64.0	79.5	72.0	76.5	69.5	78.0	84.0	77.0	66.0	76.5	80.5	86.0	909.5時間
登録実人数/月	21	21	21	24	24	24	23	24	26	28	27	28	24.3人

### 課題と今後の取り組み

一緒に家事等することで、少しずつ自信をつけて一人でできるようにしていくが、依頼心強くなり、できることも頼られることがある。自主性が出るように声のかけ方が難しい。

専任職員を配置し、複数の支援者が関われるように体制を整える。一人の支援員に負担がかからないようにする。

### Ⅲ 法人支援組織の活動状況

## 1 令和5年度 長野りんどう会後援会の状況

新型コロナウイルス感染症は昨年5月、5類に移行されましたが、いまだ収束には至っておらず、予断を許さない状況です。私達の生活や働き方は、感染防止対策を講じつつ行うことを余儀なくされております。

今年元旦に発生した能登半島地震は多くの方が犠牲になりました。

自然災害が「いつ・どこで・なにが」起こっても不思議でない日本列島です。災害が発生した際「ボランティア」の活躍が報道されるたび、「助け合い」の大切さを痛感します。

私達後援会を取り巻く環境は、「円安・物価の高騰・会員の減少・役員の高齢化等」課題が山積しておりますが、「困った時はお互い様」の原点に返り、皆で助け合って行かなければならないと思います。

ライフサポートりんどうは地域に必要不可欠な法人です。どうぞ後援会の趣旨をご理解のうえ、皆様の更なるご支援ご協力をお願いいたします。

#### (1) 事業報告

☆長野りんどう会後援会総会 コロナウイルス感染症対策の為、書面議決方式により開催

☆後援会ニュース発行

会報長野りんどう No.67 後援会だより Vol.64 (R5年11月)

会報長野りんどう No.68 後援会だより Vol.65 (R6年5月)

☆会員の推移

令和5年度 110名 平成12年度 83名、平成13年度 336名、平成14年度 314名  
平成15年度 316名、平成16年度 357名、平成17年度 306名  
平成18年度 329名、平成19年度 323名、平成20年度 308名  
平成21年度 324名、平成22年度 287名、平成23年度 306名  
平成24年度 283名、平成25年度 256名、平成26年度 221名  
平成27年度 210名、平成28年度 210名、平成29年度 195名  
平成30年度 200名、令和元年度 183名、令和2年度 182名  
令和3年度 141名、令和4年度 134名

☆支援活動

社会福祉法人長野りんどう会への支援 (寄付) 令和5年11月14日

☆後援会入会

年会費 1口 2,000円の支払をもって会員とします。

(年度は4月1日～翌年3月31日まで)

(2) 長野りんどう会後援会会計報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位：円

収 入			支 出		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	364,000	会員 110 名	事 務 費	0	
雑 収 入	0		印 刷 費	40,467	後援会だより
繰 越 金	151,081	前年度より	役 務 費	12,832	郵便振替料
			寄 付 金	300,000	長野りんどう会へ
			郵 便 費	4,060	資料郵送料
合 計	515,081		合 計	357,359	

収入合計 515,081 円 支出合計 357,359 円 差引残高 157,722 円

( 次年度へ繰越 )

## 会 計 監 査 報 告

令和5年度の社会福祉法人長野りんどう会後援会の収入支出について監査したところ、関係諸帳簿等が正確に処理されており、その内容がいずれも適正であると認めます。

令和6年6月14日

監事 春日 桂子 ㊟

監事 竹腰 清宏 ㊟

社会福祉法人長野りんどう会後援会

会 長 大 塚 富 男 殿

(3) 長野りんどう会後援会役員名簿 (令和6・7年度)

会 長 大塚 富男

副 会 長 伊藤 善啓

事務局 長 藤沢 惇子

委 員 清水 敏雄 竹中 禎子 窪田 靖子 畠崎 直子 丸尾 璣子

池田 義一 海野 悦子 村越 恵子 中條 常由 井上 竜一

渡辺 隆一 山本 芳子 山下 侑

監 事 竹腰 清宏 春日 桂子

## 2 令和5年度 ボランティア活動状況

単位：人

月 別	ワークス上駒	フレッシュとくま	スローステップ	計
	りんどうカフェ			
4 月	0	0	8	8
5 月	0	0	6	6
6 月	0	0	8	8
7 月	0	0	9	9
8 月	0	0	6	6
9 月	0	0	9	9
10 月	0	0	6	6
11 月	0	0	7	7
12 月	0	0	9	9
1 月	0	0	6	6
2 月	0	0	7	7
3 月	0	0	6	6
合 計	0	0	87	87

### 3 令和5年度 ライフサポートりんどう家族会の状況

#### 1 今年の情勢

5月に新型コロナウイルスが5類に移行となり、“アフターコロナ”の事業運営の初年度となった。  
『家族の日』を6月から毎月開催とし、家族会の核事業と位置づけ行ったが、参加者がなく開催できない月もあった。開催できた月には1名～3名程度の出席者があり、意見交換と交流の場となった。

#### 2 事業の主なもの

- 1) 会 議 ・総会1回 ・幹部会 なし ・監査会1回

※定期総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止（書面同意をもって決議）

※幹部会は上記理由により開催なし

- 2) 親睦交流会 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止

- 3) 研 修 会 『家族の日』（毎月最終金曜日）開催 内容：フリートーク

6月30日 3名参加 8月25日 3名参加

10月27日 2名参加 1月26日 3名参加

2月16日 1名参加 3月22日 3名参加

- 4) 啓 発 活 動 ・機関紙「とくまの風」不定期発行 No.227～No.231

※R3年度から毎月発行から不定期発行に変更

・月刊誌「みんなねっと」「こころの元気+」団体購読推進

- 5) そ の 他 ・古紙回収事業 7,450 k g（去年は8,020 k g）

・令和5年度会員数 94名（幹部会員4名 代議員18名）

・「後援会」への参加協力

・社会福祉法人長野りんどう会への運営協力（評議員参加）

・施設行事等への参加（ふれあいまつり、年忘れ会等）は法人行事がすべて中止となったため参加実績なし

#### 3 会計報告

・収入	348,706円	・支出	217,416円	・収支残額	131,290円(次年度へ)
内訳		内訳			
繰越金	94,696円	会議費	0円		
会費	96,000円	負担金	56,000円		
事業収入	158,010円	通信費	42,226円		
雑収入	0円	旅費	532円		
		報償費	0円		
		事業費	112,465円		
		雑費	1,193円		
		寄附金	5,000円		

## 令和5年度 役員等名簿

	氏 名	就任年月日	任 期	備 考
理 事	小 平 恵 子	R5.6.26	R 7 年度定時評議員会 の終結の時まで	
	小 林 千佳子	”	”	常務理事
	轟 純 一	”	”	
	藤 澤 敏 明	”	”	副理事長
	松 橋 良 三	”	”	理事長
	宮 尾 美代子	”	”	
	和 田 恭 良	”	”	
監 事	塩 澤 一 郎	R5.6.26	R 7 年度定時評議員会 の終結の時まで	
	丹 後 恵 二	”	”	
評議員	大 塚 富 男	R3.6.28	R 7 年度定時評議員会 の終結の時まで	
	大日方 眞理子	”	”	
	金 子 むつ江	”	”	
	鎌 田 泰太郎	”	”	
	小 出 恭 彦	”	”	
	小 林 淑 朗	”	”	
	野 口 英 俊	”	”	
	八 木 和 久	R5.6.27	”	
評議員選任・ 解任委員	戸井田 易	R3.6.28	R7 年度定時評議員会 の終結の時まで	
	塩 澤 一 郎	”	”	
	戸 谷 文 恵	”	”	
第三者委員	黒 柳 み よ	R4.4.1	R6.3.31	
	富 田 洋 子	”	”	

# 令和5年度 職員名簿

令和6年3月31日現在

区分	職名	氏名	区分	職名	氏名
本部事務	事務長	小林克巳	グループホーム	管理者(施設長)	戸谷文恵
	事務員	田村郁雄		副施設長・生活支援員	北澤純子
	事務員	荒井里美		サービス管理責任者	武井綾
	事務員	田村あけみ		世話人	和田美佐江
フレッシュとくま	(介護・SS・宿泊)管理者	(小林克巳)		世話人	田中三恵子
	副施設長・地域移行支援員 サービス管理責任者	風間杏子		世話人	八田眞実
	生活支援員	佐藤和香		世話人	中澤文江
	生活支援員	清水絵里奈		世話人	傳田由香
	生活支援員	小林孝子		世話人	(荒井里美)
	生活支援員	巾招幸		看護職員	(和田美知子)
	生活支援員	本山葉月	就労定着 支援室	管理者(施設長)	(小林克巳)
	看護職員・生活支援員	和田美知子		サービス管理責任者	(上野和昭)
	看護職員・地域移行支援員	池田英利子		就労定着支援員	(巾招幸)
	生活支援員・調理員	池田けさ美	ゆつたりんどう	管理者(施設長)	(小林千佳子)
	生活支援員・調理員	佐藤和子		サービス管理責任者	小沼淳一
	生活支援員	下谷泰憲		職業指導員	小林清美
	生活支援員(日直)	養田正晃		生活支援員(生活訓練)	関涼太
	当直職員	鳶崎忠雄		生活支援員(生活訓練)	(前山沙織)
当直職員	森聡	生活支援員		(山崎玲香)	
当直職員	土屋富男	生活支援員		(下谷泰憲)	
当直職員	橋本雅男	相談室	管理者(施設長)	(小林千佳子)	
管理者(施設長)	(小林克巳)		副施設長・相談支援専門員	萩原ゆりか	
サービス管理責任者	上野和昭		相談支援専門員	山口和嘉	
(生活支援員・調理員)	(武井綾)		相談支援専門員	(山崎玲香)	
ワークス上駒	職業指導員	高野裕朗	ヘルパーステーション てくてく	管理者・サビ提・支援員	(小林千佳子)
	生活支援員	四柳美保子		支援員	山崎玲香
	職業指導員	(和田美佐江)		支援員	前山沙織
	目標工賃達成指導員	(田村郁雄)		支援員	(小林孝子)
	生活支援員	松本かん奈		支援員	(四柳美保子)
	生活支援員	内田俊之		支援員	(本山葉月)
	生活支援員	白谷久美子		支援員	(田村あけみ)
	職業指導員	大峽幸良	自立生活 支援室	管理者(施設長)・サビ管	(戸谷文恵)
	調理員	北澤美枝子		地域生活支援員	(北澤純子)
	調理員	(傳田由香)			

発行者 社会福祉法人長野りんどう会  
発行日 令和6年8月

〒381-0041 長野市大字徳間 3222  
Tel 026-239-7077  
Fax 026-239-7070

e-mail : [l.s.r@bg.wakwak.com](mailto:l.s.r@bg.wakwak.com)

URL : <https://nagano-rindou.jp/>

